

環境経営レポート

2023年度 第17期

(レポート対象期間 2023/7月1日～2024/6月30日)



株式会社 トモノ

発行日 : 2024 年 8 月 20 日

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画
6. 環境経営目標の実績
7. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

<はじめに>

持続可能な社会を構築するべく、私たち株式会社トモノの事業活動における社会での重要性を理解し積極的に環境への取り組みを行うことを決定し全員で事業活動の中で、省エネルギー、省資源、廃棄物削減等の取り組みを行うことを決めました。

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

株式会社 トモノ
代表取締役 伴野 健治

2) 所在地

本社	〒384-0503 長野県南佐久郡佐久穂町大字海瀬355
佐久平スタジオ	〒385-0022 長野県佐久市岩村田1290-7

3) 環境経営管理責任者及び連絡先

環境管理責任者：伴野 健治
連絡先： TEL0267-86-4346

4) 事業内容

総合建設業
(建築工事業 とび・土工工事業 鋼構造物工事業 内装仕上工事業 屋根工事業)
長野県知事許可(般-4)第23460号
令和5年1月25日から令和10年1月24日まで

5) 事業規模

資本金 1500万円

売上高 1,689百万円

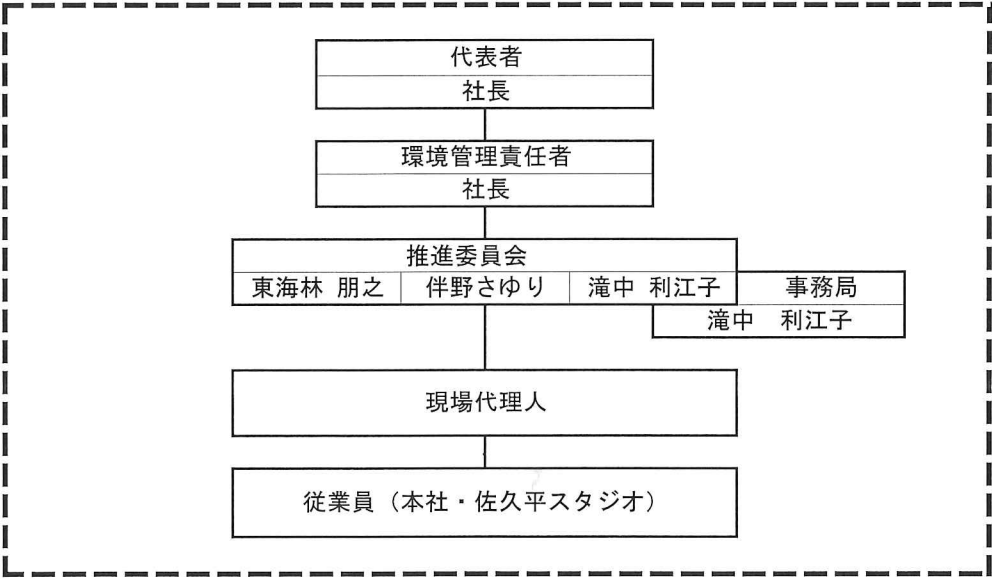
従業員数 31人

面積	本社事務所	68.91 m ²
	工場	279.30 m ²
	佐久平スタジオ	62.87 m ²

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

- 1) 認証登録範囲：全組織・全従業員
- 2) レポート対象期間：2023年7月～2024年6月
- 3) 発行日：2024年8月20日

実施体制図



役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任者 ・ 環境経営システムの承認及び見直し ・ 環境経営システムの実施に要する人材 設備 費用 時間 技術者の準備 ・ 環境経営管理責任者の任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・ 環境経営目標・環境経営計画書の承認 ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示 ・ 環境経営レポートの承認
環境経営 管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・ 環境経営目標・環境経営計画書の確認 ・ 環境経営取組結果の代表者への報告 ・ 環境経営レポートの確認 ・ 従業員に対する教育訓練の実施
推進委員会	・ 環境経営管理責任者の補佐 ・ 環境への負荷と環境への取組状況の自己チェック ・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・ 環境経営の実績集計 ・ 環境関連法規等一覧表の作成 ・ 環境関連法規等一覧表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開（事務所への備え付け及び地域事務局への送付） ・ 環境上の緊急事態への準備及び対応のための手順書作成 ・ 手順書の作成及び運用管理
全従業員	・ 環境経営方針への理解、環境への取組の重要性の自覚 ・ 決まりを守ること、積極的な環境経営活動への参加 ・ 問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・ 環境経営計画の実施及び達成状況の報告

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

企業理念

私たち株式会社トモノは信州の美しい自然の中に存在しています。その中で私たちが総合建設業として事業活動していく中で自然との共存は欠かせないものと捉えています。美しい自然を、地球を、後世に残していくために、私たちができる事を日々考え実行していく事が必要である。

環境経営方針

私たちトモノは基本理念に基づき事業活動による環境負荷を検討し自然環境保護の為に建設業者として、できる事を日々探求し実行継続していきます。

1. 低炭素住宅の推進・ゼロエネルギー住宅の推進
2. 再生可能エネルギー利用の推進
3. 二酸化炭素排出量の削減
4. 水資源・化学物質使用量の削減
5. 環境関連法規制の順守、その他の要求事項及びグリーン購入の推進
6. 建設事業全般において産業廃棄物の3R（発生抑制・再使用・再生利用）の推進
7. 全社員及び協力会社への啓発教育を徹底し、環境方針の周知と意識の向上を図る。

制定日 ： 2019年5月7日

株式会社 ト モ ノ

代表取締役 伴野 健治

4. 環境経営目標

No.	<取組項目>	単位	基準値 (2021年度)	目標 2023年度	目標 2024年度	中期目標 2026年度
1	<二酸化炭素排出量削減> 排出係数：0.388Kg-CO2/kwh CO2総排出量	Kg-CO2	51023.6	1.7%削減 50156.1	1.8%削減 50105.1	2%削減 50003.1
①	電気使用量削減	Kg-CO2	10725.0	1.7%削減 10542.6	1.8%削減 10531.9	2%削減 10510.5
②	ガソリン使用量削減	Kg-CO2	24348.2	1.7%削減 23934.2	1.8%削減 23909.9	2%削減 23861.2
③	軽油使用量削減	Kg-CO2	14145.1	1.7%削減 13904.6	1.8%削減 13890.4	2%削減 13862.1
2	<廃棄物排出量削減>	kg	49370.0	2.3%削減 48234.4	2.4%削減 48185.1	2.5%削減 48135.7
3	<総排水量削減>	m3	127.5	2.3%削減 124.5	2.4%削減 124.4	2.5%削減 124.3
4	<化学物質使用量削減>	kg	5.7	維持 5.7	維持 5.7	維持 5.7
5	<製品への環境配慮>					
①	情報発信 (勉強会・構造見学会・ 完成見学会等)開催	回	16	23	24	25
②	構造物の環境配慮 (SW工法住宅受注)	件	30	40	45	50

※ 中部電力 2021年度調整後排出係数 0.388 (kg-CO2/kWh)

5.環境経営計画

項目	実施項目	活動内容
1. CO2排出量の削減 目標値 1.7%削減 (1). 使用電気量 目標値 1.7%削減	①OA機器管理 ②照明管理 ③冷暖房管理 ④電動機器・設備管理	1. パソコン及び周辺機器の節電 2. プリンタの節電 3. コピー機の節電 4. シュレッターの節電 1. 室内照明の節電 2. 車庫照明等の節電 3. 資材置き場の節電 4. 不要な蛍光灯を外す 1. ブラインド・カーテン等の管理 2. エアコン温度管理 3. 各車運転日報管理 4. 建設機械の省エネ推進 1. 資材・消耗品の管理 2. 充電時の管理 3. 自動販売機の管理 4. V2Hの管理
(2). 消費燃料 目標値 1.7%削減 ガソリン 1.7%削減 軽油	①車両管理	1. 不必要な車両使用の削減(記録簿) 2. エコドライブを推進・各車掲示 3. 各車運転日報管理 4. 建設機械の省エネ推進
2. 廃棄物排出量の削減 目標値 2.3%削減	①一般廃棄物管理 ②産業廃棄物管理	1. ゴミを減らす 2. 分別の徹底 3. 社内資料は裏紙を使用する。 4. 社内使用封筒は、再利用する。 1. アスコン塊・コンクリート塊・木くずの再資源化促進 2. 分別解体の徹底
3. 総排水量の削減 目標値 2.3%削減	①水管理	1. 工事現場の節水 2. トイレ・手洗い節水
4.化学物質の削減 目標値 維持	①化学物質使用量の	1. 代替材料の検討・提案 2. 使用材料のSDSの管理徹底
5.構築物の環境配慮 (情報発信) 目標値 23回 (SW工法環境住宅) 目標値 40棟	①SW工法住宅の受注増 ②環境配慮住宅の普及増	1. 近隣の構築物を傷めない 2. 粉塵・ゴミの飛散に対する防止 3. SW会情報入手 4. 営業活動方法の整理・データ収集管理 5. 完成見学会/構造見学会等のイベント開催 6. 岩村田モデル 7. 小諸モデル

6.環境経営目標の実績

No.	<取組項目>	単位	基準値 (2021年度)	2023年度			
				目標値	実績値	目標値に 対する結果	評価 ※1
1	<二酸化炭素排出量削減> 排出係数：0.388Kg-CO2/kwh CO2総排出量	Kg-CO2	51023.6 (51.8)	1.7%削減 50156.1 (50.9)	55179.4 (32.7)	-35.7%	○
①	電気使用量削減	Kg-CO2	10725.0 (10.9)	1.7%削減 10542.6 (10.7)	11352.4 (6.7)	-37.3%	○
②	ガソリン使用量削減	Kg-CO2	24348.2 (24.7)	1.7%削減 23934.2 (24.3)	25853.1 (15.3)	-37.0%	○
③	軽油使用量削減	Kg-CO2	14145.1 (14.4)	1.7%削減 13904.6 (14.1)	17181.9 (10.2)	-27.6%	○
2	<廃棄物排出量削減>	kg	49370.0 (50.1)	2.3%削減 48234.4 (49.0)	61645.0 (36.5)	-25.5%	○
3	<総排水量削減>	m3	127.5	2.3%削減 124.5	153.5	23.2%	×
4	<化学物質使用量削減>	Kg	5.7	維持 5.7	1.1	-79.0%	○
5	<製品への環境配慮>						
①	情報発信 (勉強会・構造見学会・完成見学会等)開催	回	16	23	21	-2	×
②	構築物の環境配慮 (SW工法住宅受注・断熱リフォーム)	件	30	40	41	+1	○

※ () 内、環境効率指数(売上対比)百万円

※1 ○→達成 ×→未達成

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

2024年8月20日

赤字=次年度の取組

項目	達成率	評価	実施項目	項目	結果	評価				
1. CO2排出量の削減 目標値1.7%の削減			①OA機器管理	1. パソコン及び周辺機器の節電	○	・冷暖房管理もしっかりできていた。新規スタッフにもしっかり周知できた。 来期もOA機器・電動機器の節電を徹底し、冷暖房機器の設定温度の管理を継続する。				
CO2総排出量 55179.4 (kg-CO2) (1) 使用電気量 目標値1.7%の削減	-35.7%	○	②照明管理	2. プリンタの節電	○					
	-37.3%	○		③冷暖房管理	3. コピー機の節電		○			
					④電動機器・設備管理		4. シュレッターの節電	○		
			1. 室内照明の節電				○			
			2. 車庫照明等の節電	○						
			3. 資材置き場の節電	○						
			①車両管理	1. ブラインド・カーテン等の管理	○					
				2. エアコン温度管理	○					
				3. 灯油ストーブ設定管理	○					
				1. 資材・消耗品の管理	○					
			2. 充電時の管理	○						
			3. 自動販売機の管理	○						
			4. V2Hの管理	○						
			(2) 消費燃料 目標値 1.7%削減 ガソリン 1.7%削減 軽油	-37.0%	○		①車両管理	1. 不必要な車両使用の削減(記録簿)	○	・受注件数は増となったが、目標の達成できた。各スタッフ現場までのルート・現場間移動のルートの計画が、しっかり行っていた。 来期も、無駄な外出の低減及び現場によって相乗り等による車両数減を徹底継続。
				-27.6%	○			2. エコドライブを推進・各車掲示	○	
		3. 各車運転日報管理		○						
		4. 建設機械の省エネ推進		○						
2. 廃棄物排出量の削減 目標値 2.3%削減	-25.5%	○	①一般廃棄物管理	1. ゴミを減らす	○	・受注した工事の内容により廃棄物が低減。 来期も3Rの推進に努める。 産業廃棄物の管理を継続徹底。				
		②産業廃棄物管理	2. 分別の徹底	○						
			3. 社内資料は裏紙を使用する。	○						
			4. 社内使用封筒は再利用する。	○						
			1. アスコン塊・コンクリート塊・木くずの再資源化促進	○						
			2. 分別解体の徹底	○						
3. 総排水量の削減 目標値 2.3%削減	+23.2%	×	①水管理	1. 工事現場の節水	○	・外構の植木への水くれにより、増になってしまったと考える。 来期は、雨水等を利用していく。				
			2. トイレ・手洗い節水	△						
4. 化学物質の削減 目標値 維持	-79.0%	○	①化学物質使用量の低減	1. 代替材料の検討・提案	○	・材料の検討がしっかりとでき、化学物質の削減ができた。 来期も、化学物質の削減を徹底する。				
			2. 使用材料のSDSの管理徹底	○						
5. 構築物の環境配慮 (情報発信) 目標値 23回 (SW工法環境住宅) 目標値 40棟	21回 41棟	×	①SW工法住宅の受注増	1. 近隣の構築物を傷めない	○	・環境配慮住宅の目標達成。イベント等の開催は減となったが、継続的に見学会を行うことができた為、達成できたと考える。 来期も、お客様に確実な情報提供等を継続的に提供していく。				
	○	②環境配慮住宅の普及増	2. 粉塵・ゴミの飛散に対する防止	○						
			3. SW会情報入手	○						
			4. 営業活動方法の整理・データー収集管理	△						
			5. 完成見学会/構造見学会等のイベント開催	○						
			6. 岩村田モデル	○						
			7. 小諸モデル	○						

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社における環境関連法規は下記の法規制等が適用され、2024年7月5日遵守状況の確認を行ったところ、下記の結果でした。
現在環境法規制等の違反・訴訟及び苦情はありません。又、関係当局からの違反等に関する指摘は過去3年間ありません。

環境法規制等の名称	規制内容			実 施	文書・記録・チェック事項	評価内容
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・順守事項		
廃 棄 物 処 理 ・ リ サ イ ク ル						
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	廃棄物の処理方法	廃棄物		委託基準 ①委託契約の締結	・委託契約書の内容確認（委託金額、産業廃棄物の種類、性状、性状等変更情報の伝達方法等）	適合
				委託基準 ②契約書の5年間保存	・保管期間を確認	適合
				・マニフェストの回収 ・照合（発行後B2 D票90日 E票180日以内） ・未回収戻り票の報告 ・「交付状況報告」（毎年度6月30日までに） ・5年間保存 ・委託処理業者の処理状況確認（努力義務） ・多量排出事業者（前年度の産業廃棄物の発生量が1,000t以上、特別管理産業廃棄物は50t以上）産業廃棄物の減量等の当該年度の処理計画を6月30日までに県知事に提出 ・その状況を翌年度の6月30日までに県知事に提出	・マニフェスト集計表で管理（回収日の管理、法定事項記載確認） ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書は提出されているか ・施工現場で、委託処理業者の処理状況確認が行われているか ・前年度の廃棄物排出の実績が、左記の基準を超えた場合は、計画及び実績を提出しているか	適合 （2024年6月30日） 産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出
				処理状況の確認 ・第12条第7項及び第12条の2第7項	・産業廃棄物の運搬、処分を委託（1回/年 確認）	適合
				水銀使用ランプ	水銀使用製品産業廃棄物として表示、保管する。水銀使用製品として処理してもらう。	適合
建設工事に係る資材の再資源化に関する法律（建設リサイクル法）	・建築物に係る解体工事 ・建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土工事等）	【特定建設資材】 ・コンクリート及び鉄からなる資材・木材・アスファルトコンクリート	・建築物の解体工事 -床面積80㎡以上 ・土工事等- 請負代金500万円以上	・発注者への説明書（分別解体等の計画等、案内図）の提出 ・工事着手日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出書提出 ・下請負者への告知書の提出 ・発注者への再資源化等報告書の提出	・発注者への説明書（分別解体等の計画等）と再資源化報告書 ・下請負者への告知書 ・知事への届出書（条例規定）	適合
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）	建設工事全般	一般廃棄物	一般廃棄物である容器包装廃棄物を対象とする。	市町村が定めた分別の基準に従い容器包装廃棄物も適切に分別排出する。	・地域条件に従っているか。	適合
そ の 他 関 連 法 令						
道路交通法	・土工事 ・とび、土工工事 ・舗装工事 ・外構工事	道路において工事若しくは作業をしようとする者又は当該工事若しくは作業の請負人	道路使用許可条件書による	・警察署に道路使用許可申請書の提出（1ヶ月毎）	道路使用許可申請書	適合
建設業法	一般建設業	長野県知事許可	建築工事業、とび土工事業、内装仕上工事業、屋根工事業、土工事業、大土工事業、石工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業	建設業の許可申請	許可番号（般-4）第23460号	適合 （令和10年1月24日まで有効）
浄化槽法	保守点検検査			保守点検・検査	11条点検（年1回） 保守検査（4ヶ月毎）	適合

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

インプット（審議事項）	アウトプット（見直し結果：社長指示）	担当	期限
(1) 目標の達成状況 （管理責任者） ・CO2総排出量の削減達成 ・使用水量の増加 ・環境配慮構築物の達成	・使用水量の増加については、引き続き無理なく遂行していきましょう。植物等への水やりには雨水等を利用。また、新規スタッフは勿論のこと会社研修や各種講習会には、積極的に参加し、お客様に常に新しい情報をご提供できるようにしていきましょう。	全社員	都度継続
(2) 最近の不適合事例及び是正措置 （社員） ・社内不適合0件 ・是正措置1件	・不適合0化の継続徹底のこと。 ・苦情及び是正措置を定例会議にて全員に周知すること。	全社員	都度
(3) 地域住民などの利害関係者からの苦情及び是正措置 （管理責任者） ・製品、サービス及び事業活動によって生じた環境にかかわる苦情及び是正事項なし。	・発生時は速やかに社長に報告対応のこと。 ・苦情及び是正処置は社内会議にて全員に周知していくこと。	全社員	都度
(4) 法規制、遵守評価、社会状況の変化 （環境管理責任者） ・法規制の順守、継続的改善の取組 ・2025年4月1日から法の改正	・今後も法令遵守を徹底するとともに、情報を随時チェックすること。 ・建築基準法や建築物省エネ法が改正されます。改正にむけて、各スタッフ・各グループ情報共有、対応をお願いします。また、改正に向け講習を行う予定ですので、参加をお願いします。	全社員	随時
(5) 負荷の自己チェック、取組の自己チェックの結果 （担当者） ・チェックシートにて報告	・達成できている活動については、継続のこと。 ・現場にあった施工方法や作業方法を取り入れ効率の良い作業を行う。	全社員	都度継続
(6) 改善の提案 （各担当）	・引き続き、各スタッフが、改善実施提案ができる環境づくりをしましょう。また、定期的に各グループ会議 → 各リーダー会議 → 全体への展開を行う。情報共有の徹底や現場等が円滑に遂行できるようにしましょう。	全社員	都度継続 継続
(7) 環境経営方針 （管理責任者）	修正なし	全社員	都度継続 継続
(8) 環境経営目標・計画 （管理責任者）	修正なし	全社員	都度継続 随時
(9) 実施体制 （管理責任者）	修正なし	全社員	都度継続 継続